

さかど

ロイヤルの園だより

発行
(福)栄光会
さかどロイヤルの園
坂戸市大字森戸 739-1

「私たちにできること」

一層瑠璃のくんだり

介護職員

面会時間制限が解除され、外出も可能になり、ご家族の皆様にとっては待ち望まれていたことだと思います。それは私たちにとても喜ばしいことです。ご入居者にとってご家族の面会の時間はその方にとってとても大事なイベントです。面会があることによりご入居者に笑顔が増え、活気が出てくる。その事によって食事が量が増えたり、今までできることが難しかった日常動作が少しずつできるようになるといった変化が現れます。ご高齢の方々にとっては何かを継続することは簡単なことではありません。ご家族が会いに来てくれたり、支えがあつてこそ変わらずに過ごしていけるのだと思っています。

私たちは、日々の介護の中で「その方らしく暮らしていただくこと」を大切にしています。食事や入浴、会話のひとつ、き、どんな時間も、一人ひとりのペースを尊重し、笑顔で過ごしていただけるよう努めております。お手紙やお電話を通していただく言葉のひとつひとつが、ご入居者、そして職員にとって大きな励みとなっております。

朝夕の寒暖差が大きい時期ですので、ご家族の皆さまもどうぞお身体に気をつけてお過ごしください。

「新しい環境」

三層鴉のくんだり

介護職員

私は、今年の二月にさかどロイヤルの園に入職しました。これまでも介護施設での職業経験はありますが、場所が変われば人も変わる、人が変わればやり方も変わってきます。これまでに経験があつたとしてもそのやり方が通用するとは限らないし、そもそも自分がこれまでやってきたことが正しかったとも言えません。そんな不安の中で、この施設でのやり方や、自分のこれまでやってきた事を照らし合わせながら、少しずつ新しい環境に慣れているところです。

これからこの環境でどのようなことを学び経験し、自分自身が何を吸収できるのか。それを今後に活かすことが出来るように業務に取り組みればと思っています。

「秋の訪れ」

三層浅緑のくんだり

介護職員

十一月になり、肌寒いと感じる時間が増えていきます。ついこの間まで暑かったと思っていたものの、緑の葉っぱたちはあつという間に赤く染まり紅葉の時期となりました。

私は毎年この時期になると一人で埼玉の紅葉スポットを一度は行くようにしています。ある時、埼玉には私が知らない沢山の素敵な場所があるというのに行かないのはもったいないのではないか、と思ったからです。

「秋祭り」

ご入居者に秋にまつわる思い出を伺うと、「家族で秩父の山を見に何度も行つた。ドライブをしたね。」や「この時期は米の収穫に忙しくしてたな。孫がいま頑張ってくれてんだ」と笑顔で嬉しそうに話されていました。ご入居者からのお話を聞いて、私も皆様のように素敵な思い出が作れるよう自然を楽しみたいと思いました。

外に出る機会が少ないご入居者にとってどうすれば秋という季節を感じていただけるのか、試行錯誤しながらレクリエーションや食事、皆さんで季節の飾りを作るなど様々なことを通して楽しんでいただけるよう今年も頑張りたいと強く思いました。



「大阪万博に行ってきました」

医務室
看護師

「万博というものに一度行ってみるか。」という好奇心から会場を訪れてきました。行ってみると人・人・人!!と、大混雑。それでも大屋根リングからの景色は圧巻で、風も涼しく心地よかったです。そんな中で感じたことは、電子化です。入場する時に電子チケットを表示してQRコードを専用機に読み取らせなくてはならないのですが、その操作に手間取っている高齢のお客さんがいました。飲食店ではメニュー表をQRコードで読み取り、そこから注文するスタイルもありました。高齢化社会から車いす利用を踏まえた設計やスペース・段差の少ない道と配慮が進んでいるように感じますが、電子化についてはそうはいかない難しさがあると思いました。また、コスト削減・時間短縮を便利さに求めることで人同士の会話が少なくなっているような気がします。スマホから注文されたものが提供番号で呼ばれ取りに行く…。

今、若い世代では敬語ができない。スマホから注文（支払い）することでお金の価値観がわからない。漢字が書けない…など社会問題になっていると聞きます。ご入居者には認知症を患い日常生活に介助を要することがあります。ただ、お話し好きな方が多く、ついつい長話してしまうくらい饒舌です。私が知らない言葉もたくさん知っていて、勉強になることも多々…。自分自身、語彙力が低下しないためにもご入居者との会話を楽しみたいと思います。

「あの夏と比べての今の秋」

二層亜麻のくだり
介護職員

長かった夏と残暑の日々が過ぎ去り、日差しは少し強いが秋の雰囲気をやっと感じられる季節になってきました。

外にただでまだあの唸るような暑さを思い出します。趣味のウォーキングを行おうものなら数時間で肌から塩が吹き出し、たとえ水分を取っていたとしても若干の頭痛と吐き気に襲われながら意地で歩き通そうとしていたあの日々。たった一か月前だということに若干の寂しさとも開放感を感じます。

涼しくなった今、同じ道を歩くとまるで枷が外れたように歩きやすく、体の負担も少なく、やはりとても歩きやすいです。これから運動だけでなく果物などの秋の味覚などもありこれからがとても楽しみです。

この秋らしい気候が後どれだけ続いてくれるかわかりませんが、今のうちに夏行えなかったことなどもやっていきたいと思っています。

「気持ちよく散歩をする」

四層鶉のくだり
介護職員

夏の暑さが落ち着いてきたので、散歩をする人を多く見かけるようになってきました。自分も、そんな一人で夜勤前の午前中に一時間程近所を中心に、時には車を少し走らせて車を停めて近所以外を歩く事もあります。初めのころは適当に歩き、歩いたことのない道を中心に歩いていましたが、最近は縄文、弥生時代のころの遺跡や古墳を目指して歩く事が多くなってきました。埼玉県ですと行田にある「さきたま古墳群」が有名で、そこでは整備された巨大な古墳や埴輪が見られますが、坂戸にも前方後円墳がみられるところがあったりします。当然ですがしっかりと整備されていることはなく、何なら草むらに覆われていて、何も知らずに見ると荒れ果てただけ隆起した土地にしか見れなくもないです。ただ、そこに古墳がか

つてあり、そこに人が住んでいたのかと考えながら見ると浪漫を感じ楽しく見ることが出来ます。地図を「古墳」で検索すると日本全国様々な場所で見られる場所が出てくるので、それを見るのも楽しいです。散歩をするときに何かしら目的を持つてするのも中々良い気分転換になるので、自分のように古墳でなくても、興味があそうなものを探して歩くのも良いかと思っています。

「秋バテ」

二層浅緑のくだり
介護職員

真夏の酷暑が嘘のように、さわやかな秋の風が吹き過ぎやすい季節となりました。秋になると寒暖差が激しくなり体調を崩しやすくなります。「秋バテ」などというのもあるそうです。「秋バテ」とは、急な寒暖差や台風などによる気圧の変化により、自律神経が乱れ頭痛や倦怠感、食欲不振などの症状が出る様です。私も先月、朝少しだるく食欲がないことが続きました。熱中症や脱水を疑いましたが、涼しくなってきた頃だったので正に「秋バテ」だったのだと思います。秋になり食べ物の美味しい季節になってきました。温かい食べ物で体を温め、適度に身体を動かし「秋バテ」にならないように体調を整えていきましょう。

「秋祭り」

